

様式

会 議 録

| | |
|--------------------|---|
| 会 議 の 名 称 | 令和4年度第6回川越市協働事業審査委員会 |
| 開 催 日 時 | 令和5年3月27日(月) 午後2時 開会 ・ 午後3時30分 閉会 |
| 開 催 場 所 | やまぶき会館BC会議室 |
| 議 長 (会長) 氏 名 | 遠藤克弥委員長 |
| 出席者(委員) 氏名(人数) | 遠藤克弥委員長 櫻井晶夫副委員長 真下英二委員 宮岡寛委員 栃原綾子委員 野本吉憲委員 藤井美登利委員 米原民子委員 柳内邦章委員 竹澤正人委員 (10名) |
| 欠席者(委員) 氏名(人数) | なし |
| 事 務 局 職 員 職 氏 名 | 地域づくり推進課 課長 小熊政彦 副主幹 熊谷真一 主任 森裕美 |
| 傍 聴 者 人 数 | なし |
| 会 議 次 第 | 1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 報告事項について (2) 継続事業の決定について (3) その他 4 閉会 |
| 配 布 資 料 | 別 紙・・・次第 資料1・・・令和4年度実績報告書(事業報告会未提出分) 資料2・・・令和5年度協働推進事業の予算について 資料3・・・令和5年提案型協働事業補助金(継続事業:早期審査)一覧 資料4・・・令和5年度審査委員会スケジュール(案) 参考1・・・がくどうigoサポート&キャラバン事業(令和4年度) 参考2・・・令和5年度川越市協働委託事業応募要項 参考3・・・令和5年度川越市提案型協働事業補助金応募要項 |

| 議 事 の 経 過 | |
|-----------|--|
| 発 言 者 | 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
| 委員長 | <p>開 会 14時00分</p> <p>1 開 会</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>会議の成立</p> <p>市協働事業審査委員会条例第5条第2項</p> <p>会議の傍聴⇒不可</p> <p>理由：提案型協働事業の団体決定及び各事業審査において自由活発な意見交換を確保するため</p> |
| 事務局 | <p>3-1 報告事項について</p> <p>資料1の説明</p> <p>令和5年2月10日に実施した協働事業報告会の際に事業継続中等の理由で未提出だった実績報告書（提案型協働事業5件分）</p> <p>資料2の説明</p> <p>協働事業の予算については3月22日の川越市議会の議決により決定した。</p> <p>協働委託事業</p> <p>(1) 子育て情報誌作成</p> <p>こども政策課 150,000円</p> <p>(2) かわごえエコツアー</p> <p>環境政策課 90,000円</p> <p>提案型協働事業補助金</p> <p>補助経費の1/2、上限20万円 1,620,000円</p> |

| | |
|--------------------------|--|
| <p>委員 事務局 委員</p> | <p>3-2 継続事業の決定について</p> <p>(1) テレジン収容所の若い画家たち展【3回目】</p> <p>→ 今回が3回目なので提案型協働事業としては最後になる。 → ぜひやって欲しい。</p> |
| <p>委員 事務局</p> | <p>→ 3回目です。今までとどこが違うか聞いていますか。 → 特に聞いていない。展示を中心にワークショップ等を行って行く形は変わらない。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>→ 大きな違いはないが、より広く川越の人にこうした世界を広める目的。また今回はコロナが落ち着いている点が違う。展示会は人が集まるものなので影響がある。</p> <p>→ テレジン収容所の若い画家たち展について継続を認めることでよろしいか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>(異議なし)</p> |
| <p>事務局</p> | <p>(2) がくどう igo サポート&キャラバン事業【2回目】</p> <p>→ 今年度と大きくは変わらないが、違うところは4月のキャラバン隊への教え方勉強会や7月の学童保育支援員、放課後子供教室スタッフへの勉強会など教える側への勉強会を実施するところ。メインは8月のキャラバン隊の派遣。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>→ 様々な子ども達への利益を汲みながら取り組んでいる。</p> |
| <p>委員 事務局</p> | <p>→ 来年度は教える側にウェイトを置いて子ども達にわかりやすく教えようとするもの、他はそこまで変わらないのか。 → 基本的なところは変わらない。教える側として子どもの意欲の差に対してバランスよく対応できるように指導するもの。</p> |
| <p>委員</p> | <p>→ 中学校では土日の部活動を地域の人や他団体が担う等やり方が変わってきている。通じるところがあるのでもう少し定着して継続的にやってもらえるといい。</p> |

| | |
|-----------|---|
| 委員長 | →平成18年から基準法が変わって教育は学校だけでなく地域も一体となってやることになった。 |
| 委員 | 協働事業は3年しかできないので3年後も定着してできるような仕組みづくりを考えながら事業を実施して欲しい。 |
| 委員 | →定着については市民団体側の話ではなく教育委員会の問題、3年後に予算をつけて実施すべき。市民が頑張ったことを行政が活かして引き継ぐ形がよい。 |
| 委員 | →提案型協働事業で育て上げて次は委託事業になってそれが地域の子どもたちに広がるとよい。 |
| 委員 | 多世代間の交流ができる非常によい事業。どこかの学校では同じようなことを社会福祉法人がおそらく有料でやっている。根付いた形でこういったものが発達すると子供たちにとっていい。 川越には子どもサポート委員会もあるが、土日が主なので平日の放課後の活動は有効だと考える。 |
| 委員長 | がくどう igo サポート&キャラバン事業について継続を認めることでよろしいか。 |
| 委員 | (異議なし) |
| 事務局 | (3) コミュニティラジオでアクティブ防災【2回目】 イベントを通して防災を学ぶワークショップや年4回の番組放送を通して防災意識を広める内容。今年度との違いは地震に加えて水害についても取り上げる点。 |
| 委員 事務局 | 予算書について積算内訳を書いたものを出してもらうべき。 →確認する。 |
| 委員 | 防災だと自治会の活動と繋がりが深いと思う。自治会との絡みもあるとより現実的な対応が出来ると思う。 |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | →今年度の協働事業のなかで実施したラジオ番組で専門家と川越市の自治会長との座談会を行っている。 |
| 委員 | 継続性が重要な事業。また今、振込詐欺が非常に多い、防災番組の最後に一言でも特殊詐欺についても触れてもらえるといい。 |
| 委員 | 市民への周知の方法が大事。市の広報に載せるのが難しいのであれば、自治会連合会の広報誌等にラジオで防災に関する番組をやっていることを載せてもいいと思う。 |
| 委員 | →小江戸 FM と市役所は協定を結んでいなかったか。 |
| 事務局 | →「災害時緊急放送に関する協定」を結んでいる。(ラジオ放送による防災情報の提供) |
| 委員 | →自治会の回覧でチラシを回すように市役所の内部で調整すべき。協働事業で行っていることも併せて載せるべき。 |
| 委員長 | コミュニティラジオでアクティブ防災について継続を認めることでよろしいか。 |
| 委員 | (異議なし) |
| 事務局 | (4) 川越的場八景蟹ヶ淵再生事業【2回目】 蟹ヶ淵の清掃活動を継続し、水路周辺の遊歩道化、北側の耕地化等を進める内容。 |
| 委員 | 市側が活動に積極的に関わっていけるものなのかわからない。団体が困っていることに対して市は対応できているのか。 |
| 事務局 | →河川課は場所の提供にとどまっている。緑化の点で環境政策課も協力している。 |
| 委員 | →地域づくり推進課でマッチングをうまく持っていった方が団体にとってはやりやすいのではないか |

| | |
|-----|---|
| 委員 | 報告会の時に地域の学校とタイアップしたいようなことを言っていたのに、申請書に載っていないがどうなったのか。 |
| 事務局 | →団体に確認する。 |
| 委員 | 公共の場を地域の人がきれいにするのは市民活動のモデルケースになる。コーディネートを地域づくり推進課がやるべき。 |
| 事務局 | →学校については団体の意向を確認してから、まずは環境政策課と話をしたい。 |
| 委員 | →子ども達といっしょにきれいにするのはとてもいい。地域教育支援課に関わってもらいやってもらうといいのではないか。 |
| 事務局 | →申請時に補助金額について確認したところ「自分たちにできるところからはじめたい、そこから手を広げたい」ということだったので、申請書にない学校については少し早いとも考えている。 |
| 委員 | →もう少し河川敷のところを整備されてきれいになってからの話ということで今は難しくても今後の可能性として考える。 |
| 委員 | 小規模な団体なので身の回りを細々とやりたいというところからスタートしていると思う。規模の問題もあるので、地域一体を巻き込むには時間がかかる。2、3年では難しい。 |
| 委員 | 申請書に広報活動とあるので、市はこれに対して何か相談があれば行ってくださいという体制で応援すればよい。 |
| 委員長 | 川越的場八景蟹ヶ淵再生事業について継続を認めることでよろしいか。 |
| 委員 | (異議なし) |
| 事務局 | (5) 新宿町五丁目 地域デジタル化【2回目】 基本的には今年度と同様、回覧物の SNS 配信、動画配信や操作講習会。今年度と違うところはマイナポイント支援や山車贈 |

| | |
|-----------|---|
| 委員 | <p>呈式のデジタル配信、YouTubeでの短編動画配信など。</p> <p>デジタルで相互に情報発信できることとスキンシップコミュニケーションの両方のバランスをはかって実施している。IT技術は1回2回じゃ身につかないので講習会等継続してやってほしい。</p> <p>上手くすれば自治会活動の新しいモデルケースになるのではと思う。</p> |
| 委員 | <p>会長が精力的に自治会活動をやっている。成功すれば自治会の組織も変わってくると思う。もう少し自治会から色々なものを発信したりできるようになるし、電子媒体を使っていけば今の自治会の背負っている業務が半分くらいになるかもしれない。ただ、自治会は人と人との繋がりも大切、あとの半分は切り離せない。</p> |
| 委員 事務局 | <p>川越市の自治体デジタル化と絡んでいくのはどうなのか。 →川越市はまだ市内のデジタル化を進めている段階で、外まではしていない。</p> |
| 委員長 | <p>新宿町五丁目地域デジタル化について継続を認めることによるしいか。</p> |
| 委員 | <p>(異議なし)</p> |
| 事務局 | <p>3-3 その他</p> <p>○令和5年度新規事業について</p> <p>来年度新規事業として申請の相談があった事業について、アドバイス等あればお聞きしたい。</p> <p>6月のイベントについては補助金の対象になるかわからないこと、ワークショップの定員を増やしてほしいことは団体へ伝えている。</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップは無料なのか、協働事業として市民のためになる事業だといひ。全てが有料だとただ市がプロモートしているだけになる。 ・個人のリサイクルをサポートするのが協働ではない。 ・市民の理解を得られるようにしてほしい。 ・川越に音楽文化が根付かせるには良いと思うが、音楽文化の普及であればチケット代が高いのではないか。 ・他の自治体では協働事業の場合、事業のチケット代の上限を定めているところもある。 <p>○令和5年度の日程について</p> <p>第1回 協働事業審査委員会（委嘱式） 4月10日（月）午後1時 川越市役所 第1委員会室</p> <p>第2回 協働事業審査委員会 （プレゼンテーション・ヒアリング） 5月15日（月） 川越市役所7階7AB会議室</p> <p>第3回 協働事業審査委員会 5月25日（木）午後2時 川越市役所7階7A会議室</p> <p>第4回 1月中旬から下旬</p> <p>第5回 2月中旬</p> <p>第6回 3月末</p> <p>4 閉 会</p> <p>退任する委員あいさつ</p> <p>副委員長あいさつ</p> <p>閉会 15時30分</p> |
|----|---|